

# 北海道 ITS 推進フォーラム 会報



NO. 12

## CONTENTS

- P1 【活動報告】 平成 17 年度定期総会開催報告
- P2 【活動報告】 平成 17 年度定期総会開催報告
- P3 【活動報告】 講演会「ITS に関する最近の研究や施策について」
- P4 【お知らせ】

## 活動報告：平成 17 年度定期総会開催報告

さる平成 17 年 6 月 1 日（水）札幌市教育文化会館におきまして、北海道 ITS 推進フォーラム平成 17 年度定期総会が開催されました。当日は 62 会員（委任 30 含む）の参加により総会は開始されました。

議事の進行に先立ち、山本会長からご挨拶をいただき、続いて規約に則り山本会長を議長に選出し、議事が進められました。

第 1 号議案「平成 16 年事業報告」について、事務局からの報告後、会員多数承認の元、議案は可決されました。第 2 号議案「平成 16 年度会計報告」について、会員多数承認の元、議案は可決されました。第 3 号議案「規約の改定」について、事務局より提案内容を説明後、会員多数承認の元、議案は可決されました。第 4 号議案「平成 17 年度役員および幹事」について、事務局より提案内容を説明後、会員多数承認の元、議案は可決されました。第 5 号議案「平成 17 年度事業計画（案）」について、事務局より提案内容を説明後、会員多数承認の元、議案は可決されました。第 6 号議案「平成 17 年度予算（案）」について、事務局より提案内容を説明後、会員多数承認の元、議案は可決されました。

以上で予定されていた議案は全て終え、総会は終了いたしました。総会の運営にあたり会員の皆様にも多大なるご協力をいただきましたことについて、事務局よりあらためてお礼申し上げます。（以上、報告：事務局 藤井）



（上写真）平成 17 年度定期総会の様子

### ■定期総会

日時：平成 17 年 6 月 1 日（水）14 時～14 時 40 分  
場所：札幌市教育文化会館 講堂  
（札幌市中央区北 1 条西 13 丁目）

### ■平成 17 年度会員（平成 17 年 6 月 1 日現在）

一般会員：57 会員  
個人会員：12 会員  
特別会員：18 会員

### ■平成 17 年度役員構成（平成 17 年 6 月 1 日現在）

会長：山本 強（北海道大学大学院情報科学研究科教授）  
副会長：西村 泰弘（北海道開発局建設部道路計画課長）  
武田 準一郎（北海道建設部道路計画課長）  
山重 啓司（札幌市建設局土木部道路課長）  
熊谷 宏之（財団法人北海道道路管理技術センター常務理事）  
岡田 正之（株式会社ドーコン交通部長）  
田中 正稔（株式会社シー・イー・サービス副社長）  
監事：相馬 和則（独立行政法人北海道開発土木研究所道路部長）  
原文宏（社団法人北海道開発技術センター理事）  
石本 敬志（財団法人日本気象協会北海道支社参与）  
（以上、敬称略）

### ■平成 17 年度幹事構成（平成 17 年 6 月 1 日現在）

幹事長：加治屋安彦（（独）北海道開発土木研究所）  
幹事：村上 睦（北海道開発局建設部道路計画課）  
縄田 健志（北海道建設部道路計画課）  
石川 裕（札幌市建設局管理部雪対策室）  
高屋敷将也（札幌市建設局土木部道路課）  
西村 誠一（（財）北海道道路管理技術センター）  
内藤 利幸（株式会社ドーコン）  
正岡 久明（株式会社シー・イー・サービス）  
丹治 和博（（財）日本気象協会北海道支社）  
伊藤 信之（（社）北海道開発技術センター）  
長谷川一義（株式会社社長大）  
金村 直俊（札幌総合情報センター株式会社）  
（以上、敬称略）

### ■平成 16 年度事業報告

#### 1. 啓発・普及事業

##### 1) 講演会開催（2 回）

- ア) 北海道 ITS 推進フォーラム講演会（第 1 回）  
平成 16 年 5 月 24 日（月）、参加者：84 名
- イ) 北海道 ITS 推進フォーラム講演会（第 2 回）  
平成 17 年 4 月 28 日（木）、参加者：69 名

##### 2) ホームページの運用

#### 2. 会員サービス事業

##### 1) 定期総会開催

平成 16 年 5 月 24 日（月）

札幌市男女共同参画センター ホール

##### 2) 会報発行

第 10 号（平成 16 年 6 月）、第 11 号（平成 16 年 10 月）

3. 調査・研究事業

- 1) 産学官民連携による地域 ITS 推進研究会の開催
  - 第1回 平成16年7月30日(月) 参加者34名
  - 第2回 平成17年1月27日(木) 参加者17名
  - 第3回 平成17年3月7日(月) 参加者17名
- 2) 寒地 ITS ワークショップの開催
  - 平成16年8月30日(月) 北海道開発土木研究所講堂
- 3) 北海道の ITS に関するアンケート調査の実施
  - 平成17年1月12日より開始(現在も実施中)
- 4) ITS 世界会議愛知・名古屋 展示出展
  - 平成16年10月18日(月)～10月24日(日)
  - ポートメッセなごやにおいて、地域 ITS ブースに他の ITS 団体と合同で出展

4. 協力・推進事業

- 1) 「ITS 世界会議愛知・名古屋 2004」日本組織委員会参加
  - 平成16年9月2日(木) ポートメッセなごや
- 2) 愛知県 ITS 推進協議会ヒアリング対応
  - 平成16年12月13日(月) 札幌総合情報センター会議室
- 3) 「地域 ITS フォーラム」への参加
  - 平成17年1月21日、名古屋大学野依記念学術交流館

■平成16年度会計報告

1. 収入(単位:円)

科目	決算額	備考
1. 前年度繰越	482,750	
2. 会費	836,000	
3. 雑収入	20,007	協賛金、預金利息等
合計	1,338,757	

2. 支出(単位:円)

科目	決算額	備考
1. 事業費	494,186	
(1)啓発普及	324,516	講演会等
(2)会員サービス	46,020	総会開催
(3)調査研究	15,020	講師謝金他
(4)協力推進	108,630	世界会議関連出席
2. 管理費	17,662	通信印刷費等
3. 諸雑費	3,990	送金手数料
合計	515,838	
残高	822,919	次年度繰越

■規約の改定

旧	新
第2章 会員 (会費)	第2章 会員 (会費)
第5条 一般会員及び個人会員は、次に定める年会費を納入するものとする。 (1) 一般会員 2万円 (2) 個人会員 2千円	第5条 一般会員及び個人会員は、次に定める年会費を納入するものとする。 (1) 一般会員 1万2千円 (2) 個人会員 2千円

■平成17年度事業計画

1. 啓発・普及事業

- 1) 講演会の開催
  - ・ 札幌市内で2回程度開催予定
  - (第1回) 総会開催時  
テーマ「ITSに関する最近の研究や施策について」
  - (第2回) 平成17年11月頃
- 2) ホームページの運用

2. 会員サービス事業

- 1) 定期総会開催(1回)
- 2) 会報の作成及び発行(2回、12号[平成17年6月]・13号[平成18年3月]を予定)

3. 調査研究事業

- 1) 地域 ITS 推進研究会の開催
  - (開催回数) 3回程度/年
  - (開催場所) 札幌市内(予定)
  - (テーマ) 産学官民による沿道情報提供  
プローブ情報システム  
土木学会実践的 ITS 北海道プロジェクト  
その他、冬道、観光に関連する技術や施策など
  - (開催結果) 会報およびホームページ上で報告
- 2) ITS に関するワークショップの開催(北海道開発土木研究所との共催事業)
  - (開催回数) 1回/年
  - (開催場所) 札幌市内(予定)
  - (内容) 会員からの研究発表の公募と発表、議論
  - (開催時期) 公募7月頃、ワークショップ開催・発表9月頃(予定)
  - (テーマ) 冬道、観光、IT技術、情報提供など
  - (開催結果) 資料に取り纏め配布
- 3) 北海道の ITS に関するアンケート実施
  - (概要) 平成16年度に引き続き、北海道の ITS に関してホームページ上のアンケート調査を実施し、調査結果についてワークショップで発表及び議論する
  - (調査時期) 現在も実施中、最終締切は7月頃(予定)
  - (調査結果) 資料に取りまとめ配布  
(ITSに関するワークショップ)

4. 協力・推進事業

- 1) 関連講演会・会議等への後援や協賛
- 2) 地域 ITS 推進団体連絡会の参加
- 3) 土木学会実践的 ITS 北海道プロジェクトへの協力支援

■平成17年度予算

1. 収入(単位:円)

科目	予算額	備考
1. 前年度繰越	822,919	
2. 会費	732,000	
3. 雑収入	50,005	協賛金、預金利息等
合計	1,604,924	

2. 支出(単位:円)

科目	予算額	備考
1. 事業費	1,210,000	
(1)啓発普及	450,000	講演会開催他
(2)会員サービス	60,000	総会開催他
(3)調査研究	400,000	研究会開催他
(4)協力推進	300,000	地域 ITS 連絡会参加
2. 管理費	115,000	通信印刷費他
3. 諸雑費	5,000	送金手数料
4. 予備費	274,924	
合計	1,604,924	

## ■講演会「ITS に関する最近の研究や施策について」開催報告

さる6月1日(水)札幌市教育文化会館講堂におきまして、当フォーラム主催により講演会を開催いたしました。講演会にはフォーラム会員を含め76名の方にご参加いただきました。講演会の内容は以下のとおりです。

日時：  
平成17年6月1日(水)15時00分～17時00分

場所：  
札幌市教育文化会館 講堂  
(札幌市中央区北1条西13丁目)

演題：  
講演1)「土木学会 実践的 ITS に関する調査研究  
ハイパフォーマンスな北海道の新しい道路構造と  
運用に向けて」  
講師：室蘭工業大学 建設システム工学科  
教授 田村 亨 氏  
(田村様欠席のため、代理として(財)北海道開発技術セ  
ンター 伊藤 信之氏が講演)  
講演2)「札幌発「交通まちづくりのすすめ!!」  
一人と環境を重視する「さっぽろ都心交通計画」  
講師：札幌市市民まちづくり局都心まちづくり推進室  
都心交通課長 城戸 寛 氏  
講演3)「北海道の ITS に関するアンケート調査  
(中間報告)」  
講師：北海道 ITS 推進フォーラム幹事 丹治 和博 氏

### 内容：

最初の講演者であります室蘭工業大学教授の田村様が所要により欠席されましたので、研究会のサポートをしておられる(社)北海道開発技術センターの伊藤様が代理で、「土木学会 実践的 ITS に関する調査研究」と題し、講演されました。



(上写真) 伊藤様のご講演の様

まず、土木学会では ITS に関する取組において ETC や VICS の整備が進み、ITS はセカンドステージに移行する中、

地域にとって必要な ITS 技術を考えるための研究委員会を昨秋に設立し、現在9件の研究が行われていること、そのうち北海道ではより実践的な調査研究が行われていると説明がありました。そして、北海道の研究は、地域的な課題として、気象条件により(特に冬季)走行しやすさが大きく変わること、安全性の向上や効率的・効果的な移動を実現するには気象・路面条件に応じた安全速度についての情報提供が必要であることを上げられ、自動車の走行速度に影響を与える要因を分析し、安全速度の情報提供に必要なデータ取得について調査研究を行うものであるとお話いただきました。そのために多くの研究者が参加して、路面状況の判別や運転者の挙動把握、情報の収集・提供技術などの要素技術の研究が続けられているとのこと。これらの研究をへて、「ハイパフォーマンスな北海道の新しい道路構造と運用」の提案につなげてゆくとのことなので、今後の研究に大きな期待が持てる内容でした。

次に、札幌市市民まちづくり局都心まちづくり推進室の城戸様から、「札幌発「交通まちづくりのすすめ!!」と題して講演がありました。



(上写真) 城戸様のご講演の様

まず、札幌市の都心が抱える課題(旅行速度の低下、路上駐車増加、歩道駐輪増加、冬季の路面状況の悪化や幅員の減少、等)について説明がありました。その課題を解決するために、札幌市は市民参加の策定プロセスをとり、都心交通ビジョンを市民に対して提起したこと、そして都心交通社会実験やアンケート調査の実施、市民1000人ワークショップの開催により札幌都心交通計画が策定されていったこと、及びその計画の概要(公共交通の充実、車両走行を重視する道路と歩行空間や荷捌きを重視する道路とに機能を分類すること、駅前通や創成川通の再整備、等)についてご説明いただきました。市民にとって非常に関心が高い問題だけに、その計画の策定には大変苦労された旨のお話もありました。身近な生活空間の話題であることもあって、講演後も活発な質疑がありました。

最後に、北海道 ITS 推進フォーラム幹事の丹治様より、「北海道の ITS に関するアンケート調査(中間報告)」と題して、北海道 ITS 推進フォーラムホームページで実施しておりましたアンケートとその中間結果について報告がありました。



(上写真) 丹治様のご講演の様様

まず、このアンケートは北海道 ITS 推進フォーラムの平成 16 年度調査・研究事業の一環で、今後の北海道での ITS に関わる方向性を探るために、北海道の道路交通が抱える課題や特有の地域事情、新たな技術開発の方向性、それらに関わる期待や効果・将来ビジョンについて広く道民の皆さんから意見を伺うことを目的に行われたものです。そこで、暮らしや交通に関する課題や、フォーラムが作成した ITS 子供向け冊子を題材に、冊子の中にあるいくつかのシチュエーションを取り上げて、実現を期待するサービスは何かといった内容のアンケートを実施したことや、各アンケート項目において、回答者の ITS 認知度や年齢によって回答の傾向が異なっていることなどが説明されました。アンケートは今後も継続して 7 月くらいまでにとりまとめを行い、結果についてはワークショップなどで報告されるとのことでした。

講演時間の都合もあり、ご発表時間および質疑応答について十分な時間を確保できませんでしたが、各講演の終了後は、参加者から質問もあり、これらの技術の ITS における活用について理解を深める機会になったのではないかと思います。



(上写真) 講演会参加者からの質問の様様

なお、各講師のご講演資料につきましては、別途配布させていただきますので、詳細はそちらをご覧ください。もしくは、直接お問い合わせください。よろしくお願い致します。  
(以上、報告：事務局 藤井)

## ■地域 ITS 推進団体連絡会 開催報告

さる平成 17 年 5 月 26 日（木）ソフィテルザプレイス名古屋にて、「地域 ITS 推進団体連絡会」が開催され、北海道 ITS 推進フォーラムからは幹事長の加治屋様及び幹事の内藤様が出席されました。

「地域 ITS 推進団体連絡会」は、ITS が今後は市民参加や地域を主なフィールドとして展開することが期待されることから、各地域における ITS 推進組織間の連携や国と地域の連携の強化を図るべく開催されたものです。

17 の組織から 35 名が出席して、各団体の活動状況の報告や 4 省庁（警察庁、総務省、経済産業省、国土交通省）の取組の状況、ITS EXPO について報告があり、活発な意見交換がなされました。特に、北海道からは各省庁への要望事項 4 項目（ITS 事例ベストプラクティス選定及び表彰、地域 ITS ビジネスモデルコンペ、官公庁情報のインターネットでの公開、地域 ITS への持続可能な支援の確立）を提案し、各団体からは多くの賛同の意見をいただきました。

## 事務局よりお知らせ

■ 定期総会報告でも記載致しましたとおり、平成 17 年度事業では、会員の皆様からの研究発表の場として、地域 ITS 研究会及びワークショップを開催する予定であります。ワークショップに関するご案内は別途差し上げる予定ですが、皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

■ フォーラムでは、各種連絡・お知らせ、特別会員の国・地方自治体の方からの事業や公募のご案内等をホームページや電子メールでお伝えしております。電子メールアドレスをお持ちの方で、まだ登録がお済みで無い方は、この機会にぜひメールアドレスをお知らせください。info@hokkaido-its.jp または 011-232-0048(FAX)で受付しております。ご連絡の際は、会員名と電子メールアドレスを忘れずをお願いいたします。

■ 連絡先が変更になった場合は変更申込書(ホームページからダウンロードできます)をご利用の上、郵送または FAX で事務局まで送付願います。

■ 年会費納入のお願い  
年会費の納入をお願いいたします。なお振り込み手数料は各自でご負担願います。

(振込先) 北洋銀行札幌市役所支店 (普)3169840  
北海道 ITS 推進フォーラム

■ 会報第 13 号は平成 18 年 3 月発行予定です。

編集・発行／北海道 ITS 推進フォーラム(Hokkaido ITS Forum)

<http://www.hokkaido-its.jp/>

事務局／〒060-0001

札幌市中央区北 1 条西 3 丁目 MN ビル 10 階 札幌総合情報センター(株)内

●TEL 011(232)4848 ●FAX 011(232)0048

●E-mail [info@hokkaido-its.jp](mailto:info@hokkaido-its.jp)

事務局長：蓮井 七男、事務局員：藤井 雅晴、安藤 浩司